

株主の皆様へ

「ひと・もの・心」を大切に



第94期 中間事業報告書 平成21年4月1日▶▶▶平成21年9月30日



中越パルプ工業株式会社

証券コード：3877

経営理念

私達中越パルプ工業グループは、グローバル化していく経済環境の中で、持続的に発展していくため、ひたむきに人を大切にしたものづくりに努め、国際競争を勝ち抜く強い企業創りを目指します。

一、愛され信頼される企業に

コンプライアンスに徹底し真摯で誠実な企業活動を基本とし、品質を第一に弛まざる技術革新により常に顧客満足を希求するとともに、地域社会との共存共栄を図り、誰からも愛され信頼される企業を目指して努力を続けてまいります。

二、環境と社会に貢献する企業に

私たちは、省資源や省エネルギーの取り組みを継続し、リサイクル資源の有効活用に努め、地球環境に配慮した生産活動を通じて循環型社会の確立、豊かな文化社会の発展に貢献するとともに、社会の様々なニーズに積極的に対応して、安定的により良い製品とサービスを提供します。

三、向上心あふれる働き甲斐のある会社

エネルギーに革新に取り組み、不撓不屈の精神であらゆる困難にも果敢に立ち向かい、会社の明るい未来のために全ての社員が力を合わせ、国際競争を勝ち抜く収益性、健全性を備えた働き甲斐のある会社をつくりまします。

Contents

・経営理念	1	・連結財務諸表	7
・トップインタビュー	2	・会社概要	9
・トピックス	4	・株式の概況	10



本社機能の高岡移転を契機に 創業の地で今一度原点に立ち戻って 新たな発展を目指します。

当社は平成21年3月に、現場と経営の一体化を目指し本社機能を創業の地である富山県高岡市に移転しました。高岡移転に伴い本社と工場組織を統合し、無駄のない業務運営体制を構築し、付加価値のある新製品開発を推進し、安全・環境・コンプライアンスの維持につとめ、「愛され信頼される企業」を目指して企業活動に邁進します。

Q1 当上半期における取り組みと成果について説明してください。

A 紙パルプ業界におきましては、景気悪化の影響を受けて各企業の広告減少が続き、商業印刷向け用紙をはじめ紙・板紙の販売が低迷し、輸入紙の増加と相俟って需要は低い水準で推移しました。こうした需給バランスの悪化に対応して、当社も生産調整をせざるを得ない状況となり、非常事態宣言を発令し、「低操業下でも収益の出せる企業体質の実現」に向け、需要に見合った最適生産体制の確立や修繕費、人件費、一般諸経費の見直しといったコスト削減対策

に全社グループを挙げて取り組んでまいりました。

経営の責任という観点から役員報酬をカットし、不転の決意で努力をしてみりましたが、販売数量の減少や減産によるエネルギー効率の悪化などの影響が大きく、前年同期比では減収減益となりました。

Q2 創業の地である富山県高岡市に本社機能を移転して半年、どのような成果が現れつつありますか。

A 平成17年度に策定し取り組みを進めてきた「収益倍増計画」の総仕上げとなる本社機能の高岡移転を契機に、創業の地で今一度原点に立ち戻って、新

たな発展を目指してスタートをきっています。本社と工場組織の一体化により、効率的な運営体制が整うとともに迅速な意思決定が可能となり、変化の激しい経営環境に遅れることなく的確に対応できる体制になったと感じています。

しかしながら、まだまだ職場間や他部門との間で互いに正面から向き合って納得のいくまでの議論が足りていないと感じます。目まぐるしく変化する経営環境に敏感に反応し、全グループ社員が自分たちの会社は自分たちで守り、発展させるという強い当事者意識を持つことによって、経営理念に掲げる強い企業にしたいと考えます。

Q3 社長に就任された1年半前と比べ、社長自身の中で変化したことがありますか。

A 平成20年6月、社長に就任しましたが、当社が「中paraしさ」を発揮して活路を見出していくために、若い従業員から忌憚のない意見を聞きたいと高岡工場、川内工場を廻り、現場の最前線で働く従業員と本音で語り合い懇談を続けてきました。その中で、担当現場ならではの問題提起や鋭い指摘も直接聞くことができました。

企業の運営は、経営とグループ企業、そしてグループ社員全員の意識のベクトルが同じ方向に向かっていることが重要です。その前提として「情報の共有」が不可欠であると強く感じており、組織間の全ての壁を取り払い、意見を述べ合い、共通認識の上にとって課

題に取り組んでいく必要があります。このようなことから経営の社内外に対する説明責任は重要であると自身に言い聞かせています。

Q4 これから当社がなすべきことを具体的に挙げてください。

A 当社を取り巻く環境は益々厳しくなり、本年度は正に「生死を分ける年」と覚悟を決め、緊急収益対策の策定と実行によりあらゆるコスト削減策を搾り出すよう抜本的見直しを指示しています。

高岡移転に伴い本社と工場組織を統合し、職制・部門間において無駄のない効率的かつ迅速な業務体制を早急に整えていかなければなりません。新設した開発部が、竹入紙の取り組みのように当社独自の付加価値ある新製品開発を推進し、同じく新設した北陸営業所と強化した福岡営業所が、現場と営業との対話を実行し、工場と消費地の地勢的優位性を存分に発揮するよう地元へ根ざした地産地消拡大に本気で取り組んでまいります。

最後に安全・環境・コンプライアンスの維持確保は、今後の企業活動において、何にも勝る最優先事項であることを繰り返し社内で強調しています。「愛され信頼される企業」とは、「環境と社会に貢献する企業」とは、「向上心あふれる働き甲斐のある会社」とは何か常に考え、これが実践できねば企業の存続はないと考えています。



高岡新社屋完成

平成21年3月21日に営業部門と一部機能を除き、本社機能を東京都中央区銀座から、当社創業の地である富山県高岡市に移転いたしました。

現場と経営の一体化というコンセプトのもと完成した高岡新本社のオフィスから、地域活性化の一翼を担う地元密着型企业として、地産地消を掲げ、今までと変わらず誠実なものづくりに邁進していくとともに経営理念に則った真に強い企業を目指してまいります。



高岡本社新社屋



高岡工場能町

■ オフィスのコンセプト

オフィスのキーコンセプトを「現場と経営の一体」と捉え、紙の製造現場である工場と高岡本社を効率的に統合し、社員力・企業力の機能を強化させていくうえで、当社のアットホームな文化の継承が必要であると考えました。新オフィスは単に業務を遂行する場所ではなく、お互いが対話し、組織間の壁をなくした忌憚のない意見を出し合える我が家であると意味づけ、「ひと・もの・情報」が集まる創造的なコミュニケーションゾーンとしてLIVING&DININGという場を設けました。



リビング



ダイニング



家族のような ワイガヤ風景！



本社の技術屋さん、経理屋さんに加え、営業さんも参加！自由な会話の中に思わぬアイデアが・・・

● 高岡本社がニューオフィス奨励賞を受賞！ ●

快適で機能的なニューオフィスの普及・促進を図るため、模範となる先進的なオフィスを表彰する「日経ニューオフィス賞」におきまして、当社高岡本社オフィスが「地域ブロック別ニューオフィス奨励賞」（中部ニューオフィス奨励賞）の1社に選ばれました。



中部ニューオフィス奨励賞 記念盾

● 高岡開町400年記念事業協賛 ●

■ 高岡開町400年

当社が富山県高岡市に本社機能を移転した本年は、慶長14年（1609年）加賀藩二代藩主「前田利長」公が当地に町を開いてから400年を迎える節目の年と重なりました。地産地消を標榜する当社にとって不思議な縁を感じるとともに、地元高岡の皆さまから愛され信頼される企業として、更なる飛躍を目指してまいります。

■ 高岡築城大石曳き

当社が移転してきて初めてのイベントとして、高岡築城大石曳きに参加しました。高岡工場のメンバーに加え、東京から移転してきたメンバー総勢30名で大石を苦勞しながら高岡古城公園までなんとか曳きました。



統合された本社工場のメンバーで重い石を・・・動かない！

● 当社の竹入紙への取り組み ●

今日、竹林による山林荒廃は全国的な社会問題となりつつあり、竹林整備は緊急の課題となっております。竹の有効利用無くして整備は進まないと考え、当社は鹿児島県にある川内工場にて過去10年以上に亘り地域社会と一体となって試行錯誤を重ね、竹入紙として再生するシステムを構築してきました。



■ 横浜開港150周年記念テーマイベントに協賛

横浜市が今年で開国・開港150周年を迎えたことを記念し「開国博Y150」が開催されました。当社は開国博で設営された里山の自然再生のシンボル「竹の海原」に使用された大量の竹をイベント終了後に紙として再生することにより協賛いたしました。またガイドマップやポスターには当社の「100%竹入紙」が使用されました。



Y150 ヒルサイドエリア「竹の海原」



■ 立山山麓音楽祭イベント協賛

地球温暖化対策は、早急に取り組むべき課題であり、CO₂削減、エコ活動を推進するために、音楽を通じて環境意識を高めようという主旨で開催された「立山山麓音楽祭2009」に当社も賛同し、この夏協賛しました。

当社の環境に対する活動や、紙製品ができるまでの工程パネルを展示するとともに、当社製品の100%竹入紙や色クラフトを用意して「折り紙体験コーナー」を設置。また、100%竹入紙で製作したノートを配布したりと、イベントに訪れた皆さまに当社の環境への取り組みや製品を知っていただくことができました。



当社ブースを見学される来訪者



地域社会の皆さまとともに

当社は経営理念に「愛され信頼される企業に」を掲げております。地域社会の皆さまとの共存共栄を図り、誰からも信頼される企業を目指し、様々な地域社会貢献に努めております。



高岡・工場周辺クリーン作戦



川内・唐浜白砂青松の森づくり

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 平成21年9月30日	前期末(参考) 平成21年3月31日
資産の部		
1 流動資産	42,867	47,077
固定資産	98,139	98,618
2 有形固定資産	89,991	89,934
無形固定資産	162	192
投資その他の資産	7,985	8,491
資産合計	141,006	145,695
3 負債の部		
流動負債	65,188	65,472
固定負債	24,885	29,683
負債合計	90,073	95,155
純資産の部		
株主資本	50,443	50,386
資本金	17,259	17,259
資本剰余金	14,654	14,654
利益剰余金	18,570	18,512
自己株式	△ 41	△ 40
評価・換算差額等	440	104
その他有価証券評価差額金	440	104
少数株主持分	48	48
純資産合計	50,932	50,540
負債純資産合計	141,006	145,695

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

1 流動資産について

債権流動化増額による「売掛金」の減少などにより、前期末に比し大きく減少しております。

2 有形固定資産について

「川内工場パルプ生産最大化工事」、「高岡工場能町木質燃料ボイラ設置」などにより、5,676百万円増加した一方、減価償却費で5,104百万円、除却などで515百万円減少しております。

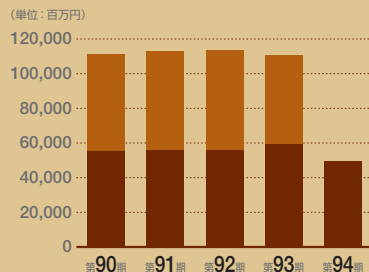
3 負債の部について

借入金返済を進めたことにより、「短期借入金」が413百万円、「長期借入金」が2,323百万円、「社債」が2,000百万円減少しております。

連結業績ハイライト Consolidated Financial Highlights

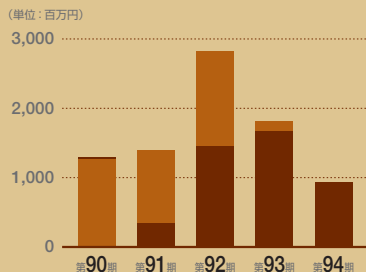
● 売上高

■ 通期 ■ 中間



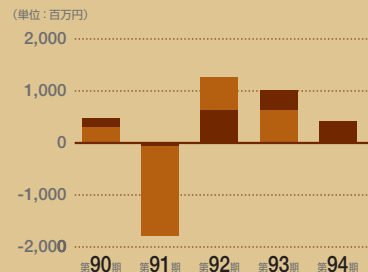
● 経常利益

■ 通期 ■ 中間



● 純利益

■ 通期 ■ 中間



連結損益計算書(要約) 4

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成21年 4月 1日から 平成21年 9月30日まで	平成20年 4月 1日から 平成20年 9月30日まで
売上高	49,498	58,982
売上原価	39,559	47,028
売上総利益	9,938	11,953
販売費及び一般管理費	8,664	9,591
営業利益	1,273	2,362
営業外収益	222	284
営業外費用	569	984
経常利益	926	1,662
特別利益	19	203
特別損失	233	229
税金等調整前四半期純利益	712	1,637
法人税、住民税及び事業税	116	114
法人税等調整額	188	509
少数株主利益	0	5
四半期純利益	407	1,008

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要約) 5

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期	前第2四半期
	平成21年 4月 1日から 平成21年 9月30日まで	平成20年 4月 1日から 平成20年 9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,789	3,781
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,276	△ 4,050
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,093	314
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△ 5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 579	39
現金及び現金同等物の期首残高	2,563	1,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,983	1,431

(注) 百万円未満は切り捨てて表示しております。

4 連結損益計算書(要約)について

企業収益悪化の影響を受け商業印刷向け塗工紙などの需要が低調に推移し、予想を超える販売数量の減少や、減産によるエネルギー効率悪化などの影響が大きく、全社グループを挙げてのコスト削減対策に取り組みましたが、前年同四半期との対比ではいずれも減収、減益となりました。

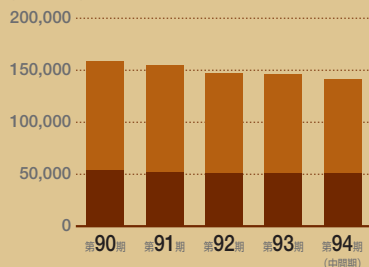
5 キャッシュ・フローについて

当第2四半期の税金等調整前四半期純利益712百万円と減価償却費5,149百万円、売上債権の回収などによる9,789百万円(営業活動によるキャッシュ・フロー)を主に設備の支払などに5,276百万円(投資活動によるキャッシュ・フロー)、借入金の圧縮に5,093百万円(財務活動によるキャッシュ・フロー)それぞれ充当いたしました。

● 総資産/純資産

■ 総資産 ■ 純資産

(単位:百万円)

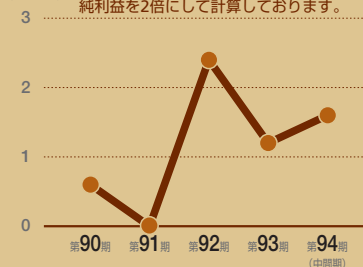


● ROE

● ROE

(単位:%)

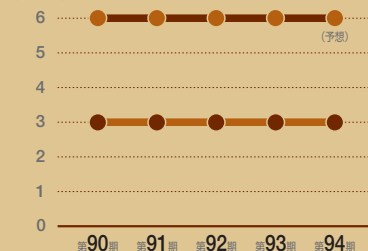
当中間期のROEの計算については、純利益を2倍にして計算しております。



● 配当金の推移

● 通期 ● 中間

(単位:円)



会社概要 (平成21年9月30日現在)

商号	中越パルプ工業株式会社
本店所在地	東京都中央区銀座二丁目10番6号
創業	昭和22年2月
資本金	17,259百万円
グループ従業員	1,810名
主要な事業内容	◎パルプ・印刷用紙・新聞用紙・包装用紙・特殊紙・高級板紙および古紙入り再生紙、竹入紙等の製造ならびに販売。
事業所	東京本社 大阪営業支社 福岡営業所 高岡工場・能町川内工場 高岡本社 名古屋営業所 北陸営業所 高岡工場・二塚

グループ概要 紙・パルプ及び紙製品製造事業

中越パッケージ株式会社
株式会社文運堂
三善製紙株式会社

その他の事業

中越緑化株式会社
中越物産株式会社
中越ロジスティクス株式会社
鹿児島興産株式会社
中越テクノ株式会社
共友商事株式会社
共同エステート株式会社

その他関係会社

Acacia Afforestation Asia Co.,Ltd
New Zealand Plantation Forest Co.,Ltd
有限会社南薩緑化センター
九州紙管株式会社
中央紙工株式会社
石川紙工株式会社
エヌシー共同開発株式会社

役員 (平成21年9月30日現在)

取締役 (兼執行役員)・監査役

代表取締役社長	原田正文
代表取締役副社長	竹下賢二
常務取締役	成毛康夫
常務取締役	村島和夫
常務取締役	桜井義昭
常務取締役	加藤明美
常任監査役 (常勤)	室谷照男
監査役 (社外)	平戸恭一
監査役 (社外)	野田晃子

なお、平成21年10月27日に開催された取締役会にて、竹下賢二代表取締役副社長が代表取締役専務に、桜井義昭常務取締役および加藤明美常務取締役が取締役に異動することを決定しております。

株式の状況 (平成21年9月30日現在)

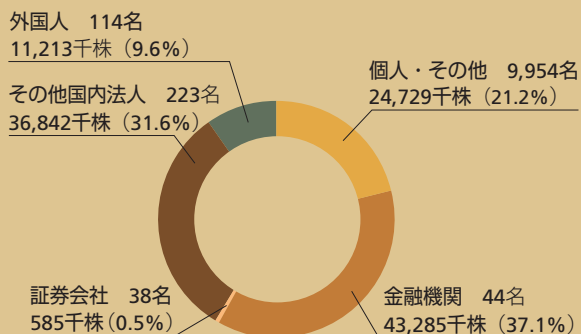
発行可能株式総数	450,000,000株
発行済株式の総数	116,654,883株
株主数	10,373名

大株主の構成

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
王子製紙株式会社	10,539	9.03
日本紙パルプ商事株式会社	6,065	5.19
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	6,040	5.17
株式会社北陸銀行	5,735	4.91
新生紙パルプ商事株式会社	5,038	4.31
国際紙パルプ商事株式会社	4,759	4.07
株式会社みずほコーポレート銀行	4,013	3.44
農林中央金庫	4,013	3.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,953	3.38
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,977	2.55

(注)千株未満は切り捨てて表示しております。

所有者別

第93期定時株主総会における
議決権行使の集計結果に関するお知らせ

1. 議決権の状況

議決権を有する株主の総数	7,852名
総議決権数	115,938個

2. 議決権行使状況

	株主総会前日 までの議決権行使 (事前行使)	株主総会 当日出席による 議決権行使	議決権行使 合計
株主数	2,509名	160名	2,669名
議決権行使個数	81,598個	12,220個	93,818個
行使率	70.4%	10.5%	80.9%

3. 事前行使による賛成状況

	事前行使に おける賛成数	事前行使に おける賛成率
第1号議案 剰余金の処分の件	81,032個	99.3%
第2号議案 定款一部変更の件	81,093個	99.4%
第3号議案 取締役6名選任の件	80,633～ 80,833個	98.8～ 99.1%
第4号議案 監査役1名選任の件	80,926個	99.2%

4. 株主総会当日出席を含む賛成状況

第1号議案から第4号議案のすべての議案は、事前行使と当日出席株主の大多数(委任状による代理出席者を含む)の賛成を確認し、可決しております。

株式のご案内

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および
特別口座管理機関 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

株主名簿管理人 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
事務取扱場所 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

[郵便物送付先・ご照会先] 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
Tel 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
ホームページアドレス
http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

単元株式数 1,000株

上場証券取引所 東京・大阪 各市場第一部

ホームページのご案内

当社ホームページにおきましても、最新トピックスほか当社のIR情報を随時発信し、ご提供しております。

<http://www.chuetsu-pulp.co.jp/>



用紙

当社、川内工場で開発した国産竹を原料とした「竹100% 100g/m²」を使用しております。

表紙

高岡市金屋町の町並み



中越パルプ工業株式会社

東京本社 東京都中央区銀座2-10-6 Tel 03-3544-1524
高岡本社 富山県高岡市米島282 Tel 0766-26-2401